

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392800039
事業所名	グループホーム向陽

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、町内の盆踊り、小学校の運動会参観に出かけている。小・中学生の職場体験も受け入れ、玄関には『あいち夢はぐくみサポーター認定証』として、「中学生の職場体験応援ありがとう」と、県教委・碧南市立中央中学校連名の感謝状が玄関に掲示してあった。施設秋祭りには、ホームで模擬店をだし、地域の人も招待している	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者・家族、民生委員、市職員・地域包括職員、出入りの業者、職員をメンバーとし、規定通り開催されている。特筆すべきは、常に6家族ほどが参加し、多いときには、半数ほどの家族が、平日開催にもかかわらず出席し、家族の関心の高さが窺い知れる。その証に、市職員も「こんなに家族の参加が多いのは珍しい。ホームとの繋がりが強いのが感じられる」と発言している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 管理者は、運営推進会議ごとに議事録を市に届け、報告と共にホームの日常を報告している。年3回程、地域の民生委員、行政担当者、ホーム・老健職員、歯科医師等が集まり、行政・福祉・医療・介護の様々な事例検討をしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議で「入院中に認定調査があり、ホームと病院では、ADLの差が大きく違うので、調査の時期をずらして欲しい」との要望に地域包括職員から「検討します」と回答があったり、「声掛けしないスタッフがいる」との指摘には、早速スタッフに個別指導した。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	×	○	×	○	○	○	○			